

## 東 ビジネス研究部会の2006年度の研究・活動報告

まずは、TDAとして、ビジネス部をつくるにあたっての話し合いがありました。そこでビジネス活動をした場合の前提で、ビジネスに関する研究・検討項目を出す。内容について毎月話し合いを行う。3～6名メンバーで約一年間、発足の背景、精神、事業目的、事業内容、組織形態、運営、報酬基準、ロイヤリティー、知的所有権、メンバー募集、個人情報保護法等について研究会を行い、研究資料を作成し、東西の理事の方々には作成した小冊子を配布いたしました。また、今後、2007年度も東TDAでは同日時に理事報告会の場所を借りて午後3時～5時までを前年度と同じビジネス活動についての話し合いや報告等致します。関心のある方がおられましたら東京のTDA事務局がビジネス研究部会の理事まで連絡して下さい。後日、改めて会員の方々にはご連絡致します。皆様の協力なくしては出来ない事業活動ですので、御協力参加をお願い致します。ところで、上記のビジネス研究部会で取り上げた内容項目の中で、今回、報酬基準目標と知的所有権（意匠権）について表記致します。

### デザイナーの報酬基準目標

#### 15年以上の経験者として…… 時給 1万円 日当 8万円前後

この報酬額を見て、当然と思われた方、自分と比較して遠い世界の高額報酬額として見たかは、いろいろあると思われそうですが、TDAビジネス研究部会が目指す報酬金額のビジネスモデル目標なのであります。さてさて……国内繊維産業の地盤沈下、壊滅的な地場事業所の状況。このご時世ですが、この金額査定は日本グラフィック・日本インテリアデザイナー（プロダクト部門）協会のだいたいの報酬基準金額なのです。この金額を得られれば貴方は世界的に見てもプロのお仕事人として一流になったと言われるようです。（資料：マッキンゼーカンパニー、世界に75支社のコンサルティング会社の査定金額）日頃、日の当たらない代表的なテキストスタイルデザイナーと言われていた我々であります。ビジネス研究部会では、上記の価格報酬を目指しております。

#### 参考資料として

##### 社団法人 日本グラフィックデザイナー協会

#### 時間料金

時間料金は時間提供者の

平均年収×1/12（月収）×1/165（月当たり標準労働時間数）×2（標準人権費50%として）で算出することができます。各職業毎の標準的制作者時間料金の参考値は、下記の通りになります。

10,000円（年収1,000万）クリエイティブ・ディレクター/プロデューサー

8,000円（年収800万）コピーディレクター/アートディレクター/CFディレクター/SPディレクター

5,000円（年収500万）コピーライター/デザイナー

2,500円（年収250万）アシスタント

##### 社団法人 日本インテリアデザイナー協会

#### プロダクトデザインの業務および報酬基準ガイド

#### 標準日額人件費

名 称	日額人件費	実務経験等の基準
チーフデザイナー	60,000円以上	インテリアデザインに関する実務経験15年以上又はそれに相当する能力のある者
デザイナー	30,000円以上	インテリアデザインに関する実務経験5年以上又はそれに相当する能力のある者
アシスタント	20,000円以上	上記に該当しない者
プロデューサー	設定しない	大型プロジェクトでプロデューサーが必要な場合は別途契約する。